

コロナ禍で深刻化する子どもの貧困問題

我が国では、数年前から“7人に1人の子どもが貧困状態にある”と言われてきました。(※直近の厚労省調査では、2018年の子ども(17歳以下)の貧困率は13.5%) ちなみに、この日本における「子どもの貧困」とは「相対的貧困」のことを指します。相対的貧困とは、全国平均世帯所得(中央値)の半分以下で暮らしている状態を指します。例えば、親子2人世帯の場合は、月額・約14万円以下(公的給付を含む)の所得しかないことになります。

こうした世帯で暮らす子どもは、食事や学習、進学、友人関係など多くの面で極めて不利な状況に置かれ、将来にわたって貧困から抜け出しづらい傾向があると言われています。そうした状況が、今年に入ってから“コロナ禍”で一層深刻になっていると思われます。



認定NPO法人フードバンク山梨が、食糧支援を行った子育て中の生活困窮世帯を対象に今年5月に行ったアンケートでは、約8割の方が「コロナ禍で収入が減った」と答えました。また、新型コロナ拡大以降の月収(手取り額)は、ひとり親世帯は10万円未満が約6割と過半数でした。同法人が2014年に行った調査では、1人1日あたりの食費が400円未満の世帯が約7割、200円未満が約2割もありました。また、本調査では米やパンなどの炭水化物の摂取が多く、肉や魚、野菜などが不足し、バランスの悪い食生活が子どもの成長に影響を及ぼしていることも明らかになりました。

政府や地方自治体では、ひとり親を対象とした児童扶養手当や、低所得世帯を対象とした就学援助制度などを通じて子育て世帯を支援しています。しかし本県においても、先に述べたような子どもの食べ物にも事欠く世帯を救いきれていません。先述のフードバンク山梨では、今年の2月から7月までの緊急・食糧支援数が延べ1,800と、前年同月比で約1.5倍に増えました。その結果、提供するための食糧が不足しがちです。特にお米の寄付を希望しています。

また甲府市では、甲府市ボランティアセンター(甲府市役所南庁舎1号館)が年2回(夏、冬)、「フードアプリケーション・食品寄付のお願い」と題して、食品の寄付を募っています。他に、甲斐市や富士吉田市では、市が社会福祉協議会に委託して、食品寄付の受け付けや生活困窮世帯への食品提供を行っています。

食事に事欠く子供たちに私たちができる支援の一環として、お手元にあるお米(昨年以降に収穫したもの)や保存食(缶詰、レトルト食品、乾麺、お菓子など賞味期限が3か月以上あるもの)の一部を、上記等の機関に寄付して頂くことは、子どもたちへの食糧支援として人権活動として非常に意味があることだと思います。当団体も昨年10月、フードバンク山梨に、お米150kgを寄付させていただきました。

新型コロナウィルス感染症の影響によって、私たちの生活様式はもちろん、社会そのものが変わろうとしています。コロナ禍だからこそ、人とのつながりを考え見つめ直し、人権感覚の基本である“人を思いやる気持ち”をしっかりと心に持って、困っている人に手を差し伸べられるようになりたいものです。特に、子どもたちを救うのは社会の責務です。深刻化する貧困問題をはじめ様々な問題に対して、私どもも行政と協働しながら、できることの輪を広げていこうと思います。

活動報告

人権啓発パネル展 9月10日(木)~9月23日(水)、甲府市東公民館、甲府市西公民館、甲府市北東公民館において、「命のメッセージ展」と題して人権啓発パネル展を開催しました。



※人権移動教室の授業を受けた子供たちの感想文が、裏面にてご覧いただけます。

協賛：山梨県、甲府市、甲斐市



**国連 NGO 横浜国際人権センター山梨ランチ
特定非営利活動法人横浜国際人権センター山梨**

会長：横山隆史

〒400-0031 山梨県甲府市上町 601-4 甲府市環境センター内 なでしこ工房 1 階事務室
TEL. 055-243-8563 FAX. 055-243-8564 <http://yamanashi.yihrc.or.jp/> E-mail. yamanashi@yihrc.or.jp

会員企業：(株)成心設備、西関東開発(株)、(株)ウィルマート、(株)R&C、(株)フジコー、(株)渡辺工業所、甲府市管工事協同組合

国連 NGO 横浜国際人権センター山梨ランチだより (2020 年 9 月号)

甲府市立西中学校 (女子)



今回、このような機会を設けて頂き、「人権」についてく
わしく知ることができました。小学生の頃から、「人権」とい
う言葉は耳にしていたけれど、いざどういふものか聞か
れると全く分かりませんでした。杉藤さんからのお話
を聞き、「人権」の本当の意味を学ぶことができました。
私が特にお話の中で心に残っているのは、国境なき
医師団と電車のお話です。国境なき医師団の人達
は、素晴らしい人達だと思いました。また、お年寄りに電
車の椅子を譲ることの2つのお話を通して、自分の人権
を主張するのではなく、人の人権を尊重できる人にな
りたいと思いました。また、自分と会話ができる、自
分自身と向き合える人になれるよう、努力しようと思
いました。

甲府市立西中学校 (男子)



「人権」について今まで考えたことがありません
でした。でも今回人権について考えることが
でき、良い機会になりました。人権は「幸せ
と生きることを守るということ」も知りました。そ
して人権は誰にでもあるものです。それをじゃま
してはいけないと思います。また、先生の「7ヶ月に
1回鏡を見て自分を振り返る」ということか
ても心に留まりました。今までは自分を振り返る
ことはしていなかったけど、鏡で自分を見る
ことでしっかり振り返ることができると思
うので、いっせんしてみたいと思います。今回学
んだことは無たにせめて日々の生活に生か
していきたいです。

人権移動教室に参加した子どもたちの感想文をご紹介します。